

平成 28 年第 1 回定例会

富良野市議会会議録（第 1 号）

平成 28 年 3 月 1 日（火曜日）

平成 28 年第 1 回定例会

富 良 野 市 議 会 会 議 録

平成 28 年 3 月 1 日 (火曜日) 午前 9 時 59 分開会

議事日程 (第 1 号)

- 日程第 1 会議録署名議員の指定
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 平成 28 年度市政執行方針
平成 28 年度教育行政執行方針
平成 28 年度予算の概要について
議案第 1 号～第 9 号 (提案説明)

出席議員 (18 名)

議 長	18 番	北	猛 俊 君	副議長	8 番	天 日 公 子 君
	1 番	大 栗 民 江 君			2 番	宇 治 則 幸 君
	3 番	石 上 孝 雄 君			4 番	萩 原 弘 之 君
	5 番	岡 野 孝 則 君			6 番	今 利 一 君
	7 番	岡 本 俊 君			9 番	日 里 雅 至 君
	10 番	佐 藤 秀 靖 君			11 番	水 間 健 太 君
	12 番	関 野 常 勝 君			13 番	渋 谷 正 文 君
	14 番	後 藤 英 知 夫 君			15 番	本 間 敏 行 君
	16 番	広 瀬 寛 人 君			17 番	黒 岩 岳 雄 君

欠席議員 (0 名)

説 明 員

市	長	能 登 芳 昭 君	副	市	長	石 井 隆 君
総 務 部	長	若 杉 勝 博 君	保 健 福 祉 部	長	鎌 田 忠 男 君	
経 済 部	長	原 正 明 君	建 設 水 道 部	長	外 崎 番 三 君	
商 工 観 光 室	長	山 内 孝 夫 君	看 護 専 門 学 校	長	丸 昇 君	
総 務 課	長	高 田 賢 司 君	財 政 課	長	柿 本 敦 史 君	
企 画 振 興 課	長	西 野 成 紀 君				

教育委員会教育長 近 内 栄 一 君
農業委員会会長 東 谷 正 君
監 査 委 員 宇 佐 見 正 光 君
公平委員会委員長 島 強 君

教育委員会教育部長 遠 藤 和 章 君
農業委員会事務局長 大 玉 英 史 君
監査委員事務局長 高 田 敦 子 君
公平委員会事務局長 高 田 敦 子 君
選挙管理委員会事務局長 一 條 敏 彦 君

事務局出席職員

事 務 局 長 川 崎 隆 一 君
書 記 澤 田 圭 一 君

書 記 今 井 顕 一 君
書 記 倉 本 隆 司 君

午前9時59分 開会
(出席議員数18名)

開 会 宣 告

議長(北猛俊君) これより、本日をもって招集されました平成28年第1回富良野市議会定例会を開会いたします。

開 議 宣 告

議長(北猛俊君) 直ちに、本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指定

議長(北猛俊君) 日程第1、会議録署名議員の指定を行います。

本定例会の会議録署名議員には、会議規則第126条の規定により、

岡 本 俊 君
関 野 常 勝 君
日 里 雅 至 君
水 間 健 太 君
大 栗 民 江 君
佐 藤 秀 靖 君
宇 治 則 幸 君
黒 岩 岳 雄 君
石 上 孝 雄 君
広 瀬 寛 人 君
萩 原 弘 之 君
本 間 敏 行 君
岡 野 孝 則 君
後 藤 英 知 夫 君

以上14名の諸君を指定いたします。

なお、本日の会議録署名議員には、

岡 本 俊 君
関 野 常 勝 君

を御指名申し上げます。

諸 般 の 報 告

議長(北猛俊君) 事務局長をして、諸般の報告をいたさせます。

事務局長川崎隆一君。

事務局長(川崎隆一君) -登壇-

議長の諸般の報告を朗読いたします。

市長より提出の事件、議案第1号から議案第41号、市長の市政執行方針、教育長の教育行政執行方針及び予算

の概要につきましては、あらかじめ御配付のとおりでございます。

次に、議会及び監査委員より提出の事件につきましては、議会側提出件名表に記載のとおり、議長にそれぞれ提出がございました。

このうち、審査及び調査を終了いたしました事件につきましては、報告書として御配付のとおりでございます。

次に、市長より行政報告の申し出があり、その概要につきましては、後日御配付いたします。

次に、閉会中の主な公務につきましては、議長報告といたしまして、本日御配付のとおりでございます。

慣例によりまして、朗読は省略させていただきます。

次に、本定例会の説明員につきましては、別紙名簿として御配付のとおりでございます。

最後に、本日の議事日程につきましても、お手元に御配付のとおりでございます。

以上でございます。

日程第2 会期の決定

議長(北猛俊君) 日程第2、会期の決定を議題といたします。

本定例会の運営に関し、議会運営委員会より報告を願います。

議会運営委員長広瀬寛人君。

議会運営委員長(広瀬寛人君) -登壇-

おはようございます。

議会運営委員会より、2月23日に告示されました平成28年第1回定例会が本日開催されるに当たり、2月25日に議会運営委員会を開催いたしましたので、審議した結果について報告いたします。

本定例会に提出されました事件数は、50件でございます。

うち、議会側提出事件は9件で、内訳は、事務調査報告3件、都市事例調査報告1件、議員派遣報告1件、例月出納検査結果報告2件、定期監査報告1件、財政援助団体監査報告1件でございます。

市長よりの提出事件は41件で、その内訳は、予算16件、条例21件、その他4件でございます。

事件外といたしまして、市長の行政報告、議長報告がございます。

次に、運営日程について申し上げます。

本会議第1日目の本日は、会期の決定後、市長の市政執行方針、教育長の教育行政執行方針及び予算の概要、平成28年度各会計予算案第1号から第9号の説明を受け、本日の日程を終了いたします。

本会議2日目の3月2日は、市長の行政報告を受け、次に、所管事項に関する委員会報告及び都市事例調査報

告、議員の派遣に関する報告、監査委員報告を受けます。

次に、議案第10号から議案第41号の提案説明を受け、その後、直ちに議員全員による予算特別委員会を設置し、第2日目の日程を終了いたします。

委員会では、平成28年度予算及び関連議案を一括付託し、休会中、審査することで申し合わせをしております。

本会議3日目の3月3日は、議案第10号から議案第16号の審議を願い、日程を終了いたします。

3月4日は議案調査のため、5日、6日は休日のため、7日は議案調査のため、それぞれ休会といたします。

本会議4日目の3月8日は、代表質問を行い、これを終了いたします。

本会議5日目、6日目の3月9日、10日は、市政に関する一般質問を行い、これを終了いたします。

3月11日は議案調査のため、12日、13日は休日のため、14日から16日は予算特別委員会開催のため、17日は議案調査のため、それぞれ休会といたします。

本会議7日目の3月18日は、付託されました平成28年度予算及び関連する議案第17号、議案第18号、議案第28号、議案第30号、議案第32号、議案第33号、議案第38号、議案第39号の審査結果について、予算特別委員長より報告を受け、審議を行います。

次に、議案第19号から議案第27号、議案第29号、議案第31号、議案第34号から議案第37号、議案第40号、議案第41号の審議を願います。

最後に、追加議案のある場合は、順次、審議を願い、本定例会を終了いたします。

次に、議案外の運営について申し上げます。

請願、意見書案等の提出期限については、3月14日の特別委員会終了時までとすることで申し合わせをしております。

以上、平成28年第1回定例会の会期は、本日3月1日から3月18日までの18日間とすることで委員会の一致を見た次第であります。

本定例会は長期にわたりますので、議員、理事者及び説明員におかれましては、健康管理に十分留意され、議会運営に特段の御協力を賜りますようお願い申し上げます。議会運営委員会からの報告といたします。

議長（北猛俊君） お諮りいたします。

ただいま議会運営委員長より報告のとおり本定例会を運営し、会期は3月1日から18日までの18日間とし、うち、5日、6日、12日、13日は休日のため、4日、7日、11日、17日は議案調査のため、14日、15日、16日は予算特別委員会開催のため、それぞれ休会いたしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、ただいまお諮りのとおり、本日から18日間と決定いたしました。

日程第3

議案第1号から議案第9号（提案説明）

議長（北猛俊君） 日程第3、議案第1号から議案第9号まで、以上9件を一括議題といたします。

提案説明に先立ち、平成28年度市政執行方針について説明を求めます。

市長能登芳昭君。

市長（能登芳昭君） おはようございます。

平成28年度市政執行方針について御説明申し上げます。

ここに、平成28年第1回富良野市議会定例会の開会に当たり、市政執行に対する私の基本的な考えを申し上げ、市議会議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

1、はじめに。

平成28年度は、市制施行50周年の記念すべき年であり、

顧みますと、人口3万人以上で市になることが悲願であった富良野町と合併の賛否で町の見解が二分していた山部町が、幾多の話し合いを重ねた末、昭和41年5月1日、道内29番目の都市として富良野市が誕生いたしました。

この間、昭和50年に開催された「輝く太陽きらめく新雪、人情が招く富良野国体」は、市民が誇りと自信をもって未来を切り開く躍進の原動力となり、その後、FISワールドカップや「北の国から」のテレビ放映、ワイン・チーズの6次産業化や、ごみのリサイクル、へそ祭りや演劇によるまちおこし、花観光や体験観光、中心市街地活性化施策などにより富良野市は全国有数のブランド力を誇るまちにまで成長しました。

農業と観光を基幹産業として発展を続ける今日の富良野市の礎を築いてこられた諸先輩の御苦労に敬意の意を表しますとともに、この意義深い年に多くの皆様のまちづくりにかけた夢と情熱に学び、21世紀を担う子供たちに、市民が誇り得る貴重な財産を引き継ぎ、飛躍の年にしてまいりたいと存じます。

さて、私は、市政の重責を担って以来、市民の皆様の行政への信頼は、情報開示と絶え間ない対話から生まれることを信条として、市民の切実たる思いや悩み、実情を起点に、市民本位の市政実現に向けて全力で取り組んでまいりました。今後においても、前例に捉われない発想と失敗を恐れない行動力により、本市を取り巻く諸課題に取り組み、市民一人一人が住み続けたいまち、そして、子供たちに誇れるまちを目指して全力で職務に邁進する決意であります。

ここで、本市の将来を展望する上で、私の三つの重点政策について、その考え方を述べたいと存じます。

2、重点政策について。

一つ目は、農村観光環境都市の形成についてであります。

豊かな自然環境のもと、肥沃な大地で営まれてきた本市の農業は、美しい森林とともに、富良野ならではの自然景観を創出し、魅力ある観光資源となっております。この富良野の魅力を支えるそれぞれの地域資源を生かし、融合することによって、農業を育て、観光でもてなし、環境を守る農村観光環境都市を形成してまいります。

国内農業に大きな影響が懸念されるTPP協定の署名式が、本年2月、ニュージーランドにおいて行われたところでありますが、本市においては、担い手対策、農村対策、生産性向上対策を一層推進し、持続可能な農業を推進してまいります。特に、担い手対策では、本年2月に設立した一般財団法人富良野市農業担い手育成機構を中心に、総合的な対策を推進してまいります。

観光では、富良野・美瑛広域観光推進協議会が中心となり、平成29年度に、観光庁が予定している（仮称）ブランド観光圏の認定に向け、日本の顔となる観光地づくりを推進してまいります。また、自然景観や農村景観に加え、彩りの花々や旬の食材を使った食、アウトドア、演劇などの地域資源を生かした観光を推進するとともに、冬季観光の底上げにより通年型・滞在型観光を推進してまいります。

環境では、再生可能なエネルギーの導入や、ごみのリサイクルによる資源化により、地域資源及びエネルギーの地産地消を推進し、地球温暖化防止に努め、循環型社会の形成による低炭素なまちづくりに向けて取り組んでまいります。

二つ目は、中心市街地の活性化についてであります。

昨年6月には、東4条街区地区第一種市街地再開発事業が完了し、商業、医療、福祉、住宅、保育所などの都市機能が集積した新たな生活街、ネーブル・タウンが誕生し、隣接するフラノ・マルシェと合わせ、平成27年度の来場者数が100万人を突破するなど、まちなかのにぎわいが回復基調にあり、官民協働によるまちづくりが一定の成果を上げているものと認識しております。今後は、富良野市中心市街地活性化基本計画に基づき、引き続き、商工会議所や商店街など関係団体と連携をしながら、まちなか回遊につながる各拠点配置の構想づくりを進め、中心市街地の活性化に向けて取り組んでまいります。

三つ目は、人口減少と地方創生についてであります。

人口減少は、日本社会の構造的な変化と、その背景にある人々の価値観にまで踏み込まなければ真の解決に至らない難しい問題であり、特効薬はありません。しかし、人口減少対策としての地方創生に向き合うためには、市

民との危機意識の共有が必要であり、地方創生をなし遂げるためには、なお一層の市民参加が必要であるとの考えのもとに、本市では、この2年間、多くの時間をかけて市民論議、職員論議を経て、富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定してまいりました。

総合戦略では、新たな施策に踏み出すとともに、「ひと」をつなぐ富良野戦略、「しごと」をつくる富良野戦略、「まち」を育てる富良野戦略の3本の柱を掲げ、合計特殊出生率1.8人、観光経済効果に対応する就業者数3,600人、まちなか居住人口1,200人を5年後の数値目標としております。今後は、総合戦略の施策の着実な執行により、富良野に仕事をつくり、仕事があることで富良野に人を呼び込み、人の暮らしを支える富良野のまちが活性化する好循環による相乗効果を期待するところであります。

平成28年度は、地方創生元年であるとともに、第5次富良野市総合計画後期基本計画のスタートの年であります。以下、平成28年度の主な施策について、後期基本計画に掲げる基本目標、個別目標に沿ってその概要を説明申し上げます。

3、主な施策について。

(1) 次代を担う子どもたちをみんなで育むまちづくり。

安心して子育てができる環境づくりについて。

少子化が進行する中、次代を担う子供たちを育むために、安心して出産し、子育てができる環境づくりに向け、富良野市子ども・子育て支援事業計画及び次世代育成支援第3期地域行動計画を推進してまいります。

乳幼児と保護者の交流の場として、子育てに関する相談や情報提供を行う子育て支援センターの開設日を拡充するとともに、ファミリー・サポート・センター事業などを継続し、子育て支援の充実を図ってまいります。

子ども・子育て支援法による子供のための教育・保育給付では、地域型保育を実施する市内の保育事業者に入所する子供に対して保育給付費の給付を行い、認可外保育所に対して経営の安定化を図るための支援を継続するとともに、市立へき地保育所については特例地域型保育の適用を図ってまいります。

子供や母親の健康保持・増進を図るため、母性及び乳幼児に対する保健指導、健康診査を実施するとともに、心身の発達におくれのある児童がその発達段階に応じた能力を生かせるよう、関係機関や団体との連携により相談支援、発達支援などを推進してまいります。

子育て世帯の経済負担軽減を図るため、乳幼児医療費の助成範囲を拡大するとともに、新たな特定不妊治療費の助成、乳児の紙おむつ助成券、おむつ用ごみ袋の交付、第3子以降の出産祝金や多子世帯入学準備助成金の給付を行い、子育て環境の向上を図ってまいります。

心豊かでたくましい子どもたちを育む教育の推進。

幼児教育では、保育所、幼稚園から小学校への円滑な就学支援が重要であることから、児童の心の問題や生活習慣などについて一貫した教育の実践に努めるとともに、幼稚園就園奨励費などの子育て支援や就園機会の拡充を図ってまいります。

学校教育では、富良野市第2次学校教育中期計画に基づき、子供たちがみずからの未来や社会を開く生きる力を地域全体で育てていくことを掲げ、教育のコンセプト連続、継続、接続を基軸に富良野市Z E R O運動を推進し、小・中・高との相互連携による教育実践と学力向上に取り組んでまいります。

特別支援教育では、一人一人のニーズに応えるため、学校間の引き継ぎや相談体制の充実、保健、医療、福祉などの連携を図るとともに、教育環境の向上に努めてまいります。

また、東京大学北海道演習林との交流に関する協定により、恵まれた森林資源を活用した森林学習プログラムを作成し、森林環境教育を推進するとともに、児童生徒の安全と教育環境の向上に配慮した学校施設整備に努めてまいります。

みんなで子どもたちを育む地域づくり。

家庭は子供たちの健やかな育ちの基盤であり、家庭教育は全ての教育の出発点であることから、家庭教育講演会、セミナーの開催や家庭教育ハンドブックの配付など、引き続き家庭の教育力向上に取り組んでまいります。

また、子供たちの豊かな感性や表現、コミュニケーション力を育むとともに、放課後子ども総合プランの推進により、児童が放課後などを安全・安心に過ごすことができ、健やかに育まれる環境づくりを図ってまいります。

(2) やさしさと生きがい実感できるまちづくり。

豊かな心身を育む社会教育活動の環境づくり。

社会教育活動では、富良野市第7次社会教育中期計画に基づき、健やかな心身を育み、優しさと生きがい実感できる社会教育活動を推進してまいります。

行政組織の再編により、文化・スポーツ行政を効果的、総合的に推進し、スポーツ活動では生涯スポーツの振興を図るとともに、文化・芸術活動では個性と魅力ある文化の創造並びに演劇文化の発信、向上に努め、あわせて、市制施行50周年記念事業を展開してまいります。

文化財保護活動では、市内に存在する文化財などについての調査と資料の整備を推進するとともに、その保護と継承に向けて、文化財保護意識の啓発、向上に努めてまいります。

読書活動では、市民の学習ニーズに対応できるよう図書資料の整備に努めるとともに、子供の読書推進に向けて、家庭、地域、学校との連携を図りながら環境整備を進めてまいります。

誰もが健康で安心のできる地域づくり。

地域医療では、富良野圏域における医師の高齢化と地域センター病院での常勤医師の不足が続いており、医療ニーズに沿った医療体制の維持、確保に向け、地域センター病院や富良野医師会などの関係機関と連携するとともに、地域センター病院医師確保対策への助成、医学生に対する医師養成確保修学資金の貸し付けなどを継続してまいります。

また、僻地医療対策として、昨年7月に開設された山部診療所の運営に対し、引き続き支援をしてまいります。

また、市民の健康づくりでは、新たに胃がん予防対策となるピロリ菌検査を取り入れるなど、生活習慣病の発症、重症化の予防などによる健康寿命の延伸に向けた取り組みを推進してまいります。

さらに、高齢者が安心して住みなれた地域で暮らすことができる地域包括ケアシステムの構築が求められる中、第6期富良野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の2年目として、現行の予防給付による訪問介護、通所介護サービスを新たな介護予防・日常生活支援総合事業に順次移行し、認知症の予防啓発やふまねっと運動の普及、ふれあいサロン運営支援など、介護予防活動を推進するとともに、助け合い、支え合いの地域づくりに向け、地域福祉活動の現状とニーズの把握を行い、地域に合った生活支援、介護予防に取り組んでまいります。

ともに支えあい生きいきと暮らせる地域づくり。

市民の誰もが住みなれた地域で、みずから健康で生きがいのある安心な暮らしを願っております。地域福祉では、地域の現状を広く市民に周知し、健康づくりや社会参加、生きがい活動などを助長、支援するとともに、民生委員、児童委員による要支援者を支える住民助け合いマップづくりなどを推進し、地域住民やボランティア、関係福祉団体、民間事業所などとの連携による安全・安心でともに支え合う地域づくりを推進してまいります。

障がい者福祉では、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が本年4月に施行される中、障がいのある人に対する理解を深め、人権を尊重し、相談支援の継続と障がいサービスの利用による自立と社会参加を目指すとともに、平成30年度からの次期障がい者計画の策定に着手してまいります。

生活困窮者自立支援では、富良野市社会福祉協議会と連携し、自立相談支援に取り組んでまいりましたが、生活困窮者個々の状況に応じた包括的かつ継続的な支援による自立を促すため、新たに就労準備支援、家計相談支援を本年度より実施してまいります。

(3) 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり。

安全で安心できる快適な生活環境づくり。

防災対策では、富良野市地域防災計画に基づき、市民

の防災意識の啓発や、自助、共助、公助を基本とした地域防災力の向上に努めるとともに、関係機関、自主防災組織や連合会町内会と連携して減災に取り組み、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

治水対策では、近年の集中豪雨、防災・減災として、平成27年度から開始した市街地排水路整備事業を継続実施し、計画的な排水整備を進めてまいります。

なお、北海道の事業として東8線川、ベベルイ川、西達布川の河川改修工事並びに砂防工事として北2線川、四線川支流六線川、川松沢川、二の沢川、富沢川の事業が予定をされております。

地域の安全活動では、富良野市暴力団排除条例に基づき、市民が安全で平穏に生活できる犯罪のない地域づくりに努めるとともに、交通事故死ゼロのまちづくりを目指して、市民が観光客への飲酒運転撲滅並びに交通安全啓発に取り組んでまいります。

ごみのリサイクルでは、高水準のリサイクル率維持とごみの分別排出啓発事業の一環として、老朽化している資源回収ステーションの看板を更新し、排出マナーの徹底を図ってまいります。また、紙おむつの資源化試験を継続するとともに、固形燃料ポイラーの公共施設などへの導入に向けて取り組みを進めてまいります。

環境保全では、ペレットストーブや住宅用太陽光発電システムなど、再生可能エネルギーの導入支援を継続し、地球温暖化防止を図るとともに、省エネや環境保全意識向上のため、各家庭での省エネ対策としてのうちエコ診断や、環境展や施設見学会、講演会など、環境学習の機会を提供してまいります。

消費生活では、市民の消費生活における安全・安心を確保するために、相談業務を維持するとともに、広報などを通じて情報提供を実施してまいります。

自然環境を生かして住みよさを高めるまちづくり。

住環境の向上では、耐震改修促進事業を実施するとともに、住宅リフォーム制度の拡充により、住宅改善の支援の充実を図ってまいります。

空き家の適正な管理を促進するため、空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づく条例の制定を目指すほか、まちなか居住の実現に向けた誘導策の検討を進めてまいります。

公営住宅では、住宅に困っている低所得者に対して、低廉な家賃で良質な住宅を提供するため、北麻町団地1棟8戸の建てかえと北麻町団地の道路整備を実施してまいります。

橋梁の整備では、扇山橋、南1号8線橋のかけかえ事業を継続し、公園の整備では、北の峰西公園、錦町公園、弥生町幼児公園ほかの五つの公園の遊具の更新、市道整備では、東2条1、東6条、西8条2の整備を継続し、安全で快適な生活環境づくりに努めてまいります。

安全で安心な水の供給を行うため、水道事業では、老朽した配水管の更新として、麻町地区配水管更新工事、道路改良工事に係る配水管移設工事を予定しており、あわせて水道施設の適正な維持管理を図ってまいります。

市民の衛生的で快適な生活環境の向上と、公共水域の水質保全を図るため、下水道事業では、下水道長寿命化基本計画に基づき、機器更新工事を実施してまいります。

国の直轄事業である地域高規格道路旭川十勝道路、富良野道路の整備では、北の峰トンネルの貫通を目指し工事を進めており、富良野北道路では、新富良野大橋橋梁新設工事が引き続き予定をされております。国道の整備では、一般国道38号富良野市樹海峠改修工事が予定されており、道道の整備では、東山富良野停車場線の道路改修、麓郷山部停車場線の平和橋かけかえ工事、岩屋地区の落石対策調査設計実施、市道東9線道路の道道昇格による調査測量、実施設計が予定をされております。

(4) 地域の魅力ある産業を活かしたまちづくり。

持続可能な農業及び農村づくり。

農業担い手対策では、一般財団法人富良野市農業担い手育成機構を中心として、効果的な研修会の開催や相談対応などを実施してまいります。特に、新規参入希望者に対して、トレーニング農場を活用した実践的な研修に取り組んでまいります。

農村対策では、農業・農村の多面的機能を充実するため、多面的機能支払事業、中山間地域等直接支払事業、環境保全型農業直接支払事業を引き続き取り組んでまいります。

生産性向上対策では、生産性の高い農業基盤の確立に向けた農業農村整備事業を推進するとともに、畜産振興に関しては、関係機関・団体と連携しながら哺育育成などの作業の共同化に向けて検討をしてまいります。

林業では、引き続き、民有林育成推進事業による森林整備を進めてまいります。

商工業の振興とまちなかに賑わいのあるまちづくり。

商工業の振興では、中小企業振興総合補助金の支援メニュー及び各種制度融資の支援拡充により、中小企業の振興を図るとともに、ウェブサイトを活用した地元企業の仕事情報提供事業により、若者への積極的な情報提供を進めてまいります。

また、プレミアムつき商品券の発行を継続支援することにより、地域外への消費の流出を防止し、地域経済波及につなげてまいります。

ワイン事業では、生詰めワインの製品化に向け各種試験を進め、市民や消費者に信頼され、愛される安全で高品質な製品づくりに努めるとともに、原料ブドウの確保に向け、関係機関・団体と連携をしながら、新たな生産者の掘り起こしを図り、支援のあり方を検討してまいります。

多様な業種が連携して農村の魅力を伝える観光のまちづくり。

観光振興では、富良野・美瑛広域観光推進協議会を中心としたサイクルツーリズムの定着に努めるとともに、メイドインフラノ推進事業により、市民と観光客に富良野産の農産品、加工品、料理などを提供する仕組みを構築してまいります。

観光地域づくりでは、ふらの版DMO（観光マネジメント組織）を検討するとともに、スキー場や雪を活用したロングランイベントの構築により冬季観光の底上げを図るとともに、市街地を中心にサイン整備を進めてまいります。

（５）市民と地域、行政が協働して築くまちづくり。

市民が連携し、みんなで支えあう地域づくり。

人権意識の高揚と男女共同参画の推進では、学校、事業所、関係機関などとの連携のもと、人権尊重と男女共同参画社会の実現に向けた意識の普及啓発に努めてまいります。

コミュニティ活動の活性化と協働の推進では、市職員であるコミュニティ活動推進員を各種連合町内会単位に2名配置し、地域課題の解決やコミュニティ活動の活性化を図ってまいります。

移住の推進では、仕事、住まい、暮らしの情報の一元的な発信を行うとともに、首都圏、関西圏へのプロモーション活動や、布部地区におけるお試し暮らし住宅を開設し、移住定住・交流人口の拡大を図ってまいります。

地域活性化の推進では、地域外の人材による地域力の維持、強化を図るため、山部・東山地区に地域おこし協力隊員を派遣するとともに、新たな情報発信に対しても活用してまいります。

市民の信頼に支えられた行政運営の推進。

市民参加の推進では、市長と語ろう！地域懇談会を開催し、市の取り組みや政策的課題について積極的に情報提供し、市民参加によるまちづくりを推進してまいります。

簡素、効率的な行政運営の推進では、人事評価制度の導入や研修により、幅広いと視野と政策能力を備えた市民と協働する職員の育成に努めるとともに、第4次定員適正化計画に基づき、簡素で効率的な事務執行体制の構築と適正な定員管理を推進してまいります。

また、組織体制につきましては、新たに市民生活部を創設し、出会い総合サポート室を設けるなど機構改革を行い、第5次富良野市総合計画後期基本計画及び富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な推進を図るとともに、市民にわかりやすい組織機構として協働のまちづくりを進めてまいります。

健全な財政運営の推進では、身の丈に合った財政運営を基本に、新たな着眼、柔軟な発想により、事業の選択

と財源の重点化を図るとともに、持続可能な財政基盤を堅持してまいります。

広域連合の推進では、消防、学校給食、牧場管理、環境衛生の富良野広域連合による効率的な事務処理を図るとともに、富良野圏域連携協議会において、定住自立圏共生ビジョンに基づく各種施策の連携や、圏域の振興、発展に関する協議を行ってまいります。

4、予算編成にあたって。

我が国の経済は、三本の矢から成る経済財政対策の推進により、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いているものの、中国を初めとする新興国経済の景気減速の影響などもあり、個人消費及び民間設備投資の回復におくれが見られております。

しかしながら、昨年11月に政府が打ち出した一億総活躍社会の実現に向けて、緊急に実施すべき対策などにより雇用・所得環境が引き続き改善し、堅調な民間需要に支えられた景気回復が期待されております。

このような状況の中、政府は、経済・財政再生計画の初年度として、デフレ脱却、経済再生への取り組みを加速させるとともに、歳入歳出改革を着実に推進することを経済財政運営の基本的方針としたところであります。

また、平成28年度の地方財政対策では、地方交付税総額は減額となったものの、地方税の伸びなどにより、一般財源総額は一定程度確保される見込みであります。

本市の予算編成におきましては、依然として地域経済の景気回復動向が予断を許さない状況の中、社会福祉関係経費や公共施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加など厳しい財政状況ではありますが、施策の優先順位を明確にし、さらなる精査による予算配分の重点化を図るなど、身の丈に合った予算を基本に、第5次富良野市総合計画後期基本計画及び富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策の着実な推進に向け、予算編成を行ったところであります。

平成28年度の予算規模は、一般会計126億2,600万円、特別会計66億9,250万円、公営企業会計14億950万円、合計207億2,800万円であります。

なお、この予算の総額は、前年度当初予算と比較いたしますと3.2%の増であります。

以上、平成28年度の市政執行方針と予算編成について申し上げましたが、執行に当たりましては、将来に希望の持てる市政の実現に向け、全力で市民の負託に応えてまいりたいと考えております。

議員を初め、市民の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

以上であります。

議長（北猛俊君）次に、平成28年度教育行政執行方針について説明を求めます。

教育委員会教育長近内栄一。

教育委員会教育長（近内栄一君） -登壇-
おはようございます。

平成28年度教育行政執行方針について御説明させていただきます。

平成28年第1回富良野市議会定例会の開会に当たり、教育行政に関する執行方針を申し上げ、市議会議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力をいただき、地域に根差した実効性のある教育施策を進めてまいりたいと存じます。

1、はじめに。

人口減少・少子高齢社会の到来、グローバル化など、我が国は社会情勢の急激な変化に直面しており、人々の求める豊かさは物質的なものから精神的なものへと関心が移り、価値観の多様化が進んでいます。

こうした変化の激しい社会に対応できるよう、第5次富良野市総合計画後期基本計画を基本として、知育、徳育、体育の調和のとれた児童生徒の着実な育成を目指し、「すべては子どもたちのために」を合い言葉に、子供たちの無限の可能性を伸ばす学校教育の充実に努めるとともに、市民が心身ともに健康で生きがいのある充実した人生を送ることができ、学んだ成果を適切に生かすことのできる環境づくりを推進してまいります。

2、学校教育について。

学校教育につきましては、富良野市第2次学校教育中期計画に基づき、自立と共生の未来を拓く、心豊かでたくましい人を育むことを基本理念に、子供たちが未来を拓き、変化の激しい時代をたくましく生き抜く生きる力を地域全体で育むために、学びの大地に大きく育つ3本の木としての富良野市ZERO運動を推進し、教育実践の輪を広げてまいります。

1) 主体的な学びを育てる 知育の木。

学力向上につきましては、全国学力・学習状況調査に加えて、新たに小学生を対象とした標準学力検査を実施し、その結果の検証を通して、学習指導方法の工夫、改善や学習環境づくりの推進に取り組んでまいります。

体力の向上につきましては、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえ、学校における体育、健康に関する指導の改善及び家庭における規則正しい生活習慣の定着に努めてまいります。

本市の地域資源を生かした教育につきましては、東京大学北海道演習林との交流に関する協定により、恵まれた森林資源を活用した森林環境教育に向けて、関係諸機関や市民団体との連携のもと、森林学習プログラムの作成と指導者養成を図ってまいります。

国際理解教育につきましては、引き続き外国語指導助手4名を配置しながら英語力の向上に努めるなど英語が話せるふらのっ子を目指した外国語活動の充実に努めてまいります。

特別支援教育につきましては、一人一人のニーズに応えるために、保育所、幼稚園、各学校間の円滑な引き継ぎに向けて、保健、医療、福祉との連携を図るとともに、学校や保護者に対する相談支援体制の充実に努めてまいります。

学校図書につきましては、学習に必要な図書の整備とともに、市立図書館との連携や学校支援ボランティアの協力による読み聞かせ会の実施など、児童生徒の読書活動を地域ぐるみで推進してまいります。

2) 自主自律の心を育てる 情意の木。

いじめZEROの推進につきましては、「いじめをしない、させない、ゆるさない」を合い言葉に、いじめの未然防止、早期発見、迅速な対応とその根絶に向けて、学校、家庭、地域の連携により取り組んでまいります。

心の教育につきましては、学校教育アドバイザー及び子どもと親の相談員、スクールカウンセラーを引き続き配置しながら、心の問題をケアできる体制を整備してまいります。

道徳教育につきましては、富良野にゆかりのある講師陣による心に響く道徳教育を引き続き推進するとともに、豊かな情操や生命倫理、規範意識の醸成に努めてまいります。

キャリア教育につきましては、望ましい職業観や勤労観を身につけ、主体的に進路を選択する力の充実に努めるとともに、小・中・高一貫した取り組みについて研究してまいります。

情報教育につきましては、関係機関と連携しながら、情報モラル教育を実施するとともに、タブレット端末やデジタル教科書などを活用した学習方法の工夫、充実に努めてまいります。

3) 恵まれた環境と食で育てる 健康の木。

健康教育につきましては、関係機関と連携しながら計画的な性教育、薬物乱用防止教育を推進するとともに、校内における健康相談体制の充実に努めてまいります。また、児童生徒の歯の健康づくりに向けて、全小・中学校でのフッ化物洗口を継続して取り組んでまいります。

食育につきましては、栄養教諭と養護教諭が連携を図りながら、子供の発達段階に応じて実践するとともに、学校、家庭、地域と連携した早寝・早起き・朝ごはん・みんなそろって晩ごはん運動を引き続き展開してまいります。

危機管理につきましては、学校内外での安全な生活環境づくりに努めるとともに、学校における危機管理マニュアルに基づき、防犯訓練及び災害発生時の実技訓練などを引き続き実施してまいります。

学校教育施設の整備につきましては、市立鳥沼小学校屋内運動場屋根外壁塗装工事、富良野西中学校グラウンドフェンス設置整備などを実施し、児童生徒の教育環境

の向上に配慮した安全・安心な学校施設の整備を進めてまいります。

4) 原点を見つめ未来への輪を広げる 学びの大地。

地域とともにある学校づくりを目指して、学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることのできるコミュニティスクールの導入について検討してまいります。また、児童生徒のコミュニケーション能力の向上に向けて、新たに演劇手法を取り入れたワークショップを小・中学校で実施してまいります。

さらに、小学校就学支援に向けた第3子以降多子世帯就学助成制度を創設するとともに、就学援助及び育英基金貸付事業の拡充により、教育の機会均等を推進してまいります。

3. 社会教育について。

社会教育につきましては、富良野市第7次社会教育中期計画に基づき、健やかな心身を育み、やさしさと生きがいを実感できる社会教育の推進を基本目標として、市民が自主的な学習活動に取り組むことができ、その成果を適切に生かすことのできる生涯学習社会を目指してまいります。

1) 家庭教育。

家庭教育につきましては、子供たちの健やかな育ちの基盤である家庭の教育力を高めるために、家庭教育講演会、セミナーの開催や、子供の発達段階に合わせた家庭教育ハンドブックを作成、活用してまいります。また、インターネットやスマートフォンなどによるトラブル防止に関する情報提供を行うとともに、家庭でのルールづくりや危機管理の徹底についての啓発活動を継続してまいります。

2) 青少年教育。

少年教育につきましては、放課後児童対策事業の充実に向けて、学童保育センターの対象年齢を拡充するとともに、放課後子ども教室と学童保育センターの連携を図ってまいります。また、学校支援ボランティアや地域の教育力を活用した学社融合推進事業などを実施するとともに、少年の主張大会及び子ども未来づくりフォーラムを引き続き開催し、地域づくりの実践を通じた人材育成に取り組み、さらに、関係機関と連携、協力しながら青少年健全育成に取り組んでまいります。

青年教育につきましては、青年塾を引き続き開設し、青年同士の出会いと交流の場とともに、学習機会の提供と社会参加や地域活動への参画を通じた自主的な実践活動を支援してまいります。

3) 成人、高齢者教育。

成人、高齢者教育につきましては、多様化する市民ニーズやグローバル化に対応した学習活動を支援するとともに、ことぶき大学の開設を通じ、高齢者の知識、経験

を生かした地域活動やボランティア活動などの社会参加活動を推進してまいります。

4) 芸術文化振興及びスポーツの推進。

芸術文化の振興につきましては、鑑賞機会の充実や、市民総合文化祭などを通じた自主的な芸術文化活動を支援するとともに、ふらの演劇祭の開催など演劇文化の育成を図ってまいります。また、富良野文化会館にエレベーターを設置し、より利用しやすい環境を整備するとともに、富良野演劇工場の舞台照明設備を改修してまいります。

スポーツの推進につきましては、生涯スポーツの推進を図るとともに、市制施行50周年を記念してプロ野球イースタンリーグの公式戦を招致するなど、より身近にスポーツに親しむことができる環境づくりを進めてまいります。また、競技スポーツと人材育成につきましては、NPO法人ふらの体育協会を中心として各種スポーツの競技力向上を目指し、陸上競技場第4種公認取得(更新)に向けて整備を行うとともに、指導者養成やアスリートの育成、派遣、強化に努めてまいります。

なお、文化・スポーツ行政を総合的、効果的に推進するため、行政組織の再編を行い、平成28年度より市長部局で事務の管理及び執行予定しておりますが、教育委員会といたしましては、市長部局と連携を図りながら各種施策について支援してまいります。

5) 文化財保護。

文化財の保護につきましては、市民共有の財産として保護するとともに、教育的な活用を推進し、郷土の歴史、文化、自然、風土などについて理解を深め、郷土愛を育ててまいります。また、市指定文化財の富良野獅子舞を初め、山部獅子舞、富良野弥栄太鼓などの郷土芸能を継承するために、指導者、後継者の育成や郷土芸能保存団体の活動支援に努めてまいります。

6) 読書推進。

読書活動の推進につきましては、市民参加による親しまれる図書館づくりを目指して、市民の多様なニーズに適応した図書館資料の充実を図るため、幅広い情報収集・提供に努めるとともに、図書館利用サークルやボランティアと連携した企画展、作品展、講演会など多彩な事業の実施による交流の場の創出を図ってまいります。また、乳幼児のいる世帯の子育て支援として、図書館内に授乳室を設置してまいります。

子供の読書推進につきましては、利用者カードをゼロ歳児から発行するとともに、乳幼児期からの読書活動の動機づけに効果があるブックスタートを拡充し、1歳6カ月児にも実施してまいります。また、学校における読書活動の支援や子供の読書推進ボランティアとの連携による読書環境の整備を図ってまいります。

以上、平成28年度の教育行政執行方針について申し上げ

げましたが、執行に当たりましては、事務の管理及び執行状況の点検評価に基づき、より一層、開かれた教育行政を目指しながら効果的に推進してまいりますので、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

以上でございます。

議長（北猛俊君） ここで、10分間休憩いたします。

午前11時00分 休憩

午前11時08分 開議

議長（北猛俊君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

次に、平成28年度予算の概要について及び議案第1号から議案第9号について、順次、提案者の説明を求めます。

副市長石井隆君。

副市長（石井隆君） -登壇-

おはようございます。

平成28年度各会計予算の概要について御説明を申し上げます。

我が国の経済は、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を柱とする経済財政政策を推進してきた結果、企業の経常利益や賃上げ率、有効求人倍率が高水準となるなど緩やかな回復基調にある一方、個人消費の伸び悩みや、企業収益に比べて設備投資が伴わない状況にあるなど、特に地方においては依然として経済環境に厳しさが見られます。

このような中、国は、新三本の矢として、希望生み出す強い経済、夢をつむぐ子育て支援、安心につながる社会保障の実現に向け、一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策を取りまとめ、経済・財政再生計画の初年度として、デフレ脱却、経済再生への取り組みを加速させるとともに、歳入歳入改革を着実に推進する基本方針のもとに編成された平成28年度一般会計予算の総額は、前年度対比0.4%増の96兆7,218億円と過去最高額となったところであります。

また、国の平成28年度地方財政対策につきましては、歳入において、地方交付税が16兆7,003億円、前年度対比0.3%の減となったものの、地方税の伸びにより、一般財源総額は前年度を0.2%上回る61兆6,792億円となっております。歳出においては、地方創生に係るまち・ひと・しごと創生事業費で、前年度同額の1兆円が確保されたことに加え、重点課題対応分の追加や公共施設最適化事業費の増額などにより、公債費等を除く一般歳出では前年度対比0.9%増の69兆9,200億円で、通常収支分の総額は前年度対比0.6%増の85兆7,700億円となっております。

本市の予算編成におきましては、国の地方財政対策等を踏まえた上で、第5次富良野市総合計画後期基本計画における主要施策に加え、富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる目標達成に向けた施策を着実に推進する一方、事業の優先順位や事業内容のさらなる精査による予算配分の重点化など、身の丈に合った予算を基本に予算編成を行ったところであります。

議案第1号 平成28年度富良野市一般会計予算について御説明を申し上げます。

平成28年度一般会計当初予算総額は、126億2,600万円で、前年度当初対比で5.7%の増でございます。

その概要について、歳入から御説明を申し上げます。

市税は、国の地方財政計画、地域経済の動向等を勘案し、前年度対比1.5%増の24億7,980万5,000円を計上したところでございます。

地方財政計画及び前年度交付見込み額等を勘案し、地方譲与税は、地方揮発油譲与税及び自動車重量譲与税で、前年度対比7.4%増の2億300万円。

利子割交付金は、前年度対比33.3%減の300万円。

配当割交付金は、前年度対比102.2%増の1,800万円。

株式等譲渡所得割交付金は、前年度対比203%増の1,000万円。

地方消費税交付金は、前年度対比11.4%増の4億8,000万円。

ゴルフ場利用税交付金は、前年度同額の500万円。

自動車取得税交付金は、前年度対比16.3%増の3,000万円。

国有提供施設等所在市町村助成交付金は、前年度対比0.3%減の96万6,000円。

地方特例交付金は、制度適用の状況及び前年度見込み額等を勘案し、前年度対比10.3%減の700万円。

地方交付税は、国の地方財政対策各項目における基礎数値等を勘案し、普通交付税では、前年度対比で0.2%増の45億8,225万4,000円、特別交付税は、前年度同額の3億5,000万円、合わせて49億3,225万4,000円、前年度対比では0.2%の増でございます。

交通安全対策特別交付金は、前年度対比20%増の300万円。

分担金及び負担金は、老人福祉施設入所者負担金、児童デイサービス自立支援給付費負担金、施設型給付利用者負担金、草地畜産基盤整備事業負担金等で、前年度対比6.9%減の1億2,717万3,000円。

使用料及び手数料は、墓地・火葬場使用料、看護専門学校授業料、道路占用料、公営住宅使用料、文化会館使用料等の使用料と、戸籍・住民登録・諸証明手数料、ごみ処理手数料、建築確認申請等手数料等の手数料で、前年度対比1.3%減の1億6,448万9,000円。

国庫支出金は、保険基盤安定、子ども子育て支援給付、

生活扶助費等、医療扶助費等、児童扶養手当支給費、障害者自立支援給付費、児童手当等の負担金が10億6,391万9,000円。

社会保障・税番号制度カード交付事業費、臨時福祉給付金給付事業費、地域生活支援事業費、雪寒指定路線除排雪事業、地域住宅、西8条2道路改良舗装事業、扇山橋架換事業、東2条1道路改良舗装事業、幼稚園就園奨励費、防衛施設周辺民生安定施設整備事業、東6条道路改良舗装事業等の補助金が11億3,368万7,000円。

基礎年金等事務等の委託金が889万4,000円。

国庫支出金の総額では、22億650万円、前年度対比47%の増でございます。

道支出金は、地籍調査事業、国民健康保険基盤安定、後期高齢者医療保険基盤安定、子ども子育て支援給付、障害者自立支援給付費、児童手当等の負担金が4億3,361万2,000円。

重度心身障害者医療給付事業、子ども子育て支援、地域生活支援事業費、乳幼児医療費助成事業、中山間地域等直接支払、多面的機能支払事業、青年就農総合支援事業、市有林造成事業等の補助金が3億5,363万円。

個人道民税徴収取扱事務、参議院議員選挙費、諸統計調査、南1号8線橋架換事業等の委託金が1億1,689万円。

道支出金総額では、9億413万2,000円、前年度対比2.0%の減でございます。

財産収入は、市職員・教職員住宅貸付料、土地・建物貸付料、基金利子、市有林間伐材素材売払収入、固形燃料売払収入等で、前年度対比7.8%増の4,861万1,000円。

寄附金は、前年度対比5.3%減の1万8,000円。

繰入金は、財政調整基金、地域づくり推進基金、社会福祉基金等の基金繰入金とワイン事業会計からの企業会計繰入金で、前年度対比19.5%増の1億7,226万3,000円。

繰越金は科目設定でございます。

諸収入は、前年度対比3.8%減の1億138万8,000円。

市債は、地方財政の財源不足の補填措置として発行する臨時財政対策債、消防・防災施設整備事業債、へき地医療確保対策事業債、農業基盤整備事業債、中小企業経営改善指導事業等補助事業債、東6条道路改良舗装事業債、西8条2道路改良舗装事業債（16ページで訂正）、扇山橋架換事業債、公園施設長寿命化事業債、特別支援教育推進事業債等で、前年度対比17.1%減の7億2,940万円。

以上が歳入の概要でございます。

次に、歳出につきまして、性質別に分類して御説明を申し上げます。

人件費は、議員共済会負担金、市職員数の減による給与費の減額等により、前年度対比3.8%減の23億2,696万3,000円でございます。

物件費は、参議院議員選挙費、橋梁点検業務、労務単価の上昇に伴う各種委託料の増額等により、前年度対比3.8%増の17億5,844万1,000円。

維持補修費は、道路維持補修委託料、除排雪業務委託料、各施設の修繕料等で、前年度対比0.3%増の4億1,877万9,000円。

扶助費は、自立支援給付事業費の障害福祉サービス費、障害児通所給付費及び乳幼児医療費等の増額、年金生活等支援臨時福祉給付金等により、前年度対比8.0%増の21億9,304万円でございます。

補助費等は、富良野広域連合負担金、私立幼稚園就園奨励費補助金等の増額、第3子以降多子世帯出産祝金、おむつ助成費等により、前年度対比2.5%増の17億7,136万8,000円。

公債費は、償還利子の減額により、前年度対比0.3%減の11億344万円。

積立金は、育英基金返還金積立金の増額により、前年度対比12.4%増の483万8,000円。

貸付金は、旧預託金制度の貸付残高の減に伴う商工業パワーアップ資金貸付金の減額により、前年度対比6.4%減の2,130万8,000円。

繰出金は、国民健康保険特別会計繰出金、介護保険特別会計繰出金、簡易水道事業特別会計繰出金等の増額により、前年度対比1.0%増の14億4,015万2,000円。

投資的経費は、普通建設事業費で、文化会館施設整備事業費、防衛施設周辺農業用施設設置事業補助金、東6条道路改良舗装事業費（特防）、西8条2道路改良舗装事業費（16ページで訂正）、東2条1道路改良舗装事業費、扇山橋架換事業費、南1号8線橋架換事業費等で、前年度対比45.9%増の15億7,767万1,000円でございます。

予備費は、前年度同額の1,000万円でございます。

次に、議案第2号、平成28年度富良野市国民健康保険特別会計予算について御説明を申し上げます。

国民健康保険は、国民皆保険制度の基盤を支え、地域医療の確保と健康増進、福祉の向上に重要な役割を担っておりますが、加入者の高齢化や生活習慣病等の増加による疾病構造の変化、医療の高度化等に伴い、1人当たりの医療費は横ばい傾向にあるものの、全国と比較すると高水準にあることに加え、被保険者数に占める低所得者の割合の増加等の影響もあり、財政運営は大変厳しい状況にあります。

このような中において、平成28年度においては、富良野市国民健康保険データヘルズ計画に基づき、データ分析から医療費の適正化対策を進めるとともに、特定健康診査及び特定保健指導を一層推進することにより、糖尿病等の生活習慣病の予防と重症化の抑制、健康増進に努め、医療費の抑制、あわせて、国保財政安定化に不可欠

な税の徴収体制や納税相談の強化等、収納率向上に向けた取り組みを進めることとして、平成28年度当初予算は前年度対比4.3%減の32億5,250万円を計上した次第でございます。

その概要について、歳入から御説明を申し上げます。

国民健康保険税は、被保険者に係る医療給付費分、後期高齢者支援金分及び介護納付金分で、前年度対比1.3%増の7億2,443万9,000円。

一部負担金は、一部負担金の徴収猶予分で、2,000円。

国庫支出金は、療養給付費等負担金、高額医療費共同事業負担金、特定健康診査等負担金及び財政調整交付金で、前年度とほぼ同額の6億6,959万5,000円。

療養給付費等交付金は、退職被保険者にかかわる療養給付費等で、前年度対比18.2%減の4,221万7,000円。

前期高齢者交付金は、65歳以上75歳未満の前期高齢者の偏在による保険者間の負担の不均衡を是正するためのもので、概算交付額の減と前々年度精算額の増により、前年度対比23.2%減の5億333万2,000円。

道支出金は、高額医療費共同事業負担金、特定健康診査等負担金及び財政調整交付金で、前年度対比2.0%減の1億4,572万3,000円。

共同事業交付金は、高額医療費共同事業交付金及び保険財政共同安定化事業交付金で、前年度対比1.6%減の7億7,911万7,000円。

財産収入は、富良野市国民健康保険事業保険給付基金利子で、1,000円。

繰入金は、一般会計繰入金及び給付基金繰入金で、前年度対比3.3%増の2億8,691万2,000円。

繰越金は、科目設定でございます。

諸収入は、被保険者における第三者行為による損害賠償金、保険給付費返納金等及び収支不足補填分で、1億116万1,000円の計上でございます。

次に、歳出について御説明を申し上げます。

総務費は、総務管理費、徴税费、運営協議会費の人件費及び経常経費等で、前年度対比1.2%増の6,685万7,000円。

保険給付費は、被保険者における療養諸費、高額療養費、移送費、出産育児諸費及び葬祭諸費で、前年度対比5.3%減の18億7,637万4,000円。

後期高齢者支援金等は、現役世代の後期高齢者医療保険制度に対する拠出分で、前年度対比3.1%減の3億2,149万6,000円。

前期高齢者納付金等は、65歳以上75歳未満の前期高齢者の偏在による保険者間の負担の不均衡を是正するための納付金で、前年度対比2.5%減の15万3,000円。

老人保健拠出金は、老人保健事務費拠出金で、1万2,000円。

介護納付金は、前年度対比4.9%減の1億3,345万円。

共同事業拠出金は、高額医療費拠出金、保険財政共同安定化事業拠出金等で、前年度対比2.8%減の8億1,365万円。

保健事業費は、保健事業費及び特定健康診査等事業費で、前年度とほぼ同額の2,781万9,000円。

基金積立金は、富良野市国民健康保険事業保険給付基金利子積立金で、1,000円。

公債費は、一時借入金利子で、18万7,000円。

諸支出金は、一般被保険者及び退職被保険者等の過年度分保険税還付金及び療養給付費等負担金過年度精算返還金で、前年度同額の250万1,000円。

予備費は、前年度同額で、1,000万円の計上でございます。

次に、議案第3号、平成28年度富良野市介護保険特別会計予算について御説明を申し上げます。

介護保険制度は、利用者の選択により、保健、福祉、医療の介護サービスを総合的かつ効果的に提供するもので、平成27年度から平成29年度までは第6期介護保険事業運営期間として新たな介護保険料のもとに運営を行っていき中で、平成28年度予算は、第6期介護保険事業計画をもとに前年度保険給付実績等を勘案し、前年度対比2.6%増の20億5,430万円を計上した次第でございます。

その概要について、歳入から御説明を申し上げます。

介護保険料は、65歳以上の第1号被保険者の特別徴収及び普通徴収保険料で、前年度対比1.2%減の3億5,730万2,000円。

分担金及び負担金は、介護認定審査会に係る本市を除く構成町村の負担金で、前年度対比0.9%増の521万7,000円。

国庫支出金は、介護給付費負担金、調整交付金及び地域支援事業交付金で、前年度対比1.5%増の4億9,647万円。

支払基金交付金は、40歳以上65歳未満の第2号被保険者の保険料分の介護給付費交付金及び地域支援事業交付金で、前年度対比3.0%増の5億4,014万円。

道支出金は、介護給付費負担金及び地域支援事業交付金で、前年度対比2.8%増の2億9,591万6,000円。

財産収入は、介護保険給付費準備基金利子で、11万7,000円。

繰入金は、介護給付費繰入金、地域支援事業繰入金及び介護認定事務に要する費用や職員給与費等の一般会計繰入金、低所得者保険料軽減繰入金並びに介護保険給付費準備基金繰入金で、前年度対比8.2%増の3億4,776万8,000円。

繰越金は、科目設定でございます。

諸収入は、社会及び労働保険料、サービス計画費等で、前年度とほぼ同額の1,136万9,000円の計上でございます。

次に、歳出について御説明を申し上げます。

総務費は、総務管理費、徴収費、介護認定審査会費の
人件費及び経常経費等で、前年度対比10.8%増の7,762
万7,000円。

保険給付費は、介護サービス等諸費及び高額介護サー
ビス等費で、前年度対比1.0%増の18億8,852万4,000円。

地域支援事業費は、介護予防・生活支援サービス事業
費、一般介護予防事業費及び包括的支援事業任意事業費
で、前年度対比42.7%増の8,677万2,000円。

基金積立金は、介護保険給付費準備基金積立金で、11
万7,000円。

公債費は、一時借入金利子で、25万円。

諸支出金は、償還金及び還付加算金で、51万円。

予備費は、前年度同額で、50万円の計上でございます。

次に、議案第4号、平成28年度富良野市後期高齢者医
療特別会計予算について御説明を申し上げます。

後期高齢者医療制度は、後期高齢者に係る医療費を安
定的に賄い、持続可能な医療制度を構築するため、市町
村が加入する北海道後期高齢者医療広域連合が運営主体
となるもので、平成28年度予算は前年度対比5.4%減の2
億9,170万円を計上した次第でございます。

その概要について、歳入から御説明を申し上げます。

後期高齢者医療保険料は、特別徴収及び普通徴収保険
料で、前年度対比8.4%減の1億7,408万8,000円。

繰入金は、保険基盤安定と職員給与費等の一般会計繰
入金で、前年度とほぼ同額の1億1,740万9,000円。

繰越金は、科目設定でございます。

諸収入は、保険料還付金等で、前年度と同額の20万
2,000円の計上でございます。

次に、歳出について御説明を申し上げます。

総務費は、総務管理費及び徴収費の人件費及び経常経
費で、前年度対比1.9%増の2,274万5,000円。

後期高齢者医療広域連合納付金は、事務費負担金及び
保険料等納付金で、前年度対比5.9%減の2億6,825万
5,000円。

諸支出金は、保険料還付金及び還付加算金で、前年度
と同額の20万円。

予備費は、前年度と同額の50万円を計上した次第で
ございます。

次に、議案第5号、平成28年度富良野市公設地方卸売
市場事業特別会計予算について御説明を申し上げます。

公設地方卸売市場は、生産から消費までの過程を見通
して、新鮮な青果物、水産物を適正な価格で必要量を供
給し、市民の食生活の安定と生産者の販路を確保する
という目的で設置されており、平成28年度予算については、
前年度対比11.1%減の2,400万円を計上した次第でござ
います。

その概要について、歳入から御説明を申し上げます。

使用料及び手数料は、市場施設使用料で、前年度対比

6.8%増の1,561万7,000円。

繰入金は、一般会計繰入金で、前年度対比32.3%減の
838万2,000円。

繰越金は、科目設定でございます。

次に、歳出につきまして御説明を申し上げます。

総務費は、人件費と経常経費、施設修繕等で、前年度
対比34.8%減の561万9,000円。

公債費は、地方債元利償還金で、1,758万1,000円。

予備費につきましては、80万円を計上した次第でござ
います。

次に、議案第6号、平成28年度富良野市公共下水道事
業特別会計予算について御説明を申し上げます。

公共下水道事業特別会計は、快適で衛生的な生活環境
の形成と公共水域の水質汚濁防止を図ることとして、平
成28年度予算は、前年度対比21.5%増の9億6,410万円を
計上した次第でございます。

その概要について、歳入から御説明を申し上げます。

分担金及び負担金は、特定環境保全公共下水道事業受
益者分担金及び公共下水道事業受益者負担金で、前年度
対比23.9%増の128万6,000円。

使用料及び手数料は、下水道使用料、雨水幹線使用料
及び下水道手数料で、前年度対比0.3%増の2億8,809万
4,000円。（16ページで訂正）

国庫支出金は、公共下水道事業国庫補助金で、前年度
対比568.7%増の1億30万円。

財産収入は、公共下水道事業基金利子で、9,000円。

繰入金は、一般会計繰入金及び公共下水道事業基金繰
入金で、前年度対比5.2%増の3億5,226万9,000円。

繰越金は、科目設定でございます。

諸収入は、水洗化等改造資金預託金元利収入等で、前
年度対比1.4%減の14万1,000円。

市債は、下水道事業債で、前年度対比43.2%増の2億
2,200万円の計上でございます。

次に、歳出について御説明を申し上げます。

下水道費は、人件費等の一般管理費、水洗化普及促進
費、管渠管理費、水質規制費、水処理センター管理費、
管渠事業費及び処理場事業費で、前年度対比58.4%増の
5億1,578万6,000円。

公債費は、地方債元利償還金及び一時借入金利子で、
前年度対比4.1%減の4億4,731万4,000円、予備費は前年
度同額で100万円の計上でございます。

次に、議案第7号、平成28年度富良野市簡易水道事業
特別会計予算について御説明を申し上げます。

簡易水道事業特別会計予算は、簡易水道事業の効率的
な運営及び施設の適正な維持管理を図ることとして、平
成28年度予算は、前年度対比26.7%減の1億590万円を計
上した次第でございます。

その概要について、歳入から御説明を申し上げます。

分担金及び負担金は、科目設定でございます。

使用料及び手数料は、簡易水道料金及び水道手数料で、前年度同額の3,935万円。

繰入金は、一般会計繰入金で、前年度対比10.7%増の6,544万3,000円。

繰越金は、科目設定でございます。

諸収入は、下水道からの使用料賦課徴収事務委託負担金、量水器取替負担金等で、前年度対比9.0%増の110万5,000円の計上でございます。

次に、歳出について御説明を申し上げます。

簡易水道費は、人件費等の一般管理費、施設管理費、簡易水道事業費で、前年度対比42.6%減の5,407万円。

公債費は、地方債元利償還金で、前年度対比3.0%増の5,163万円。

予備費は、前年度同額で、20万円の計上でございます。

次に、議案第8号、平成28年度富良野市水道事業会計予算について御説明を申し上げます。

水道事業会計予算は、業務の予定量を給水戸数7,580戸、年間総配水量190立方メートル、1日平均配水量を5,205立方メートルと予定し、編成したところでございます。

建設改良事業につきましては、水道水の安定した供給体制の確立のため、老朽管の更新を中心とした配水管整備事業を実施してまいります。

第3条予算の収益的収入につきましては、水道事業収益を前年度対比0.4%減の4億4,840万円とし、その内訳は、水道料金を3億5,000万円、設計審査手数料等の受託工事収益121万円、一般会計等からの負担金及び補助金で7,133万6,000円、長期前受金戻入で2,572万8,000円、その他営業収益、受取利息、雑収益等で12万6,000円の計上でございます。

収益的支出につきましては、前年度対比2.5%増の4億4,240万円とし、その内訳は、給与費で4,930万3,000円、水源送水場管理、水道施設管理図作成、検針及び料金徴収等の委託料で5,320万9,000円、有効期間満了による量水器取替及び配水給水施設等の修繕費で9,070万5,000円、水源送水場動力費で3,112万6,000円、企業債利子で5,918万2,000円、その他諸経常経費で992万5,000円、消費税及び地方消費税で645万円、現金支出の伴わない減価償却費等で1億4,050万円、予備費で200万円の計上でございます。

第4条予算の資本的支出につきましては、前年度対比9.9%減の2億8,100万円とし、その内訳は、建設改良費の施設整備費が麻町地区配水管更新工事ほか4件の工事請負費で9,825万8,000円、動力計装機器更新事業者選定支援委託料で194万9,000円、事務費は臨時事務員賃金や器具借上料等で225万3,000円、量水器取替費は有効期間満了によるもので410万7,000円、企業債償還金は企業債

償還元金で1億7,443万3,000円の計上でございます。

この財源といたしまして、第4条予算の資本的収入に計上の企業債5,480万円、量水器取替負担金21万4,000円、配水管移設補償費4,323万7,000円、雑収入14万9,000円、総額9,840万円を見込み、不足する財源1億8,260万円は、損益勘定留保資金等で補填するものでございます。

第5条企業債につきましては、配水管整備事業に対する起債の借り入れで、5,480万円を限度とするものでございます。

次に、議案第9号、平成28年度富良野市ワイン事業会計予算について御説明を申し上げます。

ワイン事業会計予算につきましては、業務の予定量を製品製造・製品販売予定数量として277.2キロリットル、内訳としましてワイン208.8キロリットル、果汁68.4キロリットルを予定し、製品の製造及び販売に必要な予算を見込み、編成したところでございます。

第3条予算の収益的収入につきましては、ワイン事業収益を前年度対比2.1%減の4億1,250万円とし、その内訳は、営業収益で4億819万円、営業外収益で431万円の計上でございます。

収益的支出は、ワイン事業費用を前年度対比1.4%減の4億1,010万円とし、その内訳は、管理費用で1億1,919万2,000円、営業費用で2億8,068万円、営業外費用で822万8,000円、予備費で200万円の計上でございます。

次に、第4条予算の資本的支出につきましては、前年度対比9.3%減の2億7,600万円とし、その内訳は、建設改良費で2,147万9,000円、棚卸資産生産費で2億5,152万1,000円、予備費を300万円計上し、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する2億7,600万円は、利益積立金を処分する240万円を含めた当年度分損益勘定留保資金2億5,315万2,000円と、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,592万円、過年度分損益勘定留保資金未使用額692万8,000円で補填をするものでございます。

以上、御説明申し上げました一般会計、特別会計及び企業会計を合わせた平成28年度の当初予算総額は207億2,800万円、前年度対比で3.2%の増となった次第でございます。

予算の執行に当たりましては、議会の意思を十分尊重するとともに、簡素で効率的な財政運営に努めてまいります。

なお、一般会計予算案につきましては、総務部長より細部説明を申し上げますので、十分なる御審議をいただきますようお願いを申し上げ、予算の概要説明といたします。

ただいま御説明しました内容に誤りがありましたので、御訂正をお願いしたいと思います。

一般会計のうち、市債でございますが、西8条2道路改良舗装事業債と言うところを南8条2道路改良舗装事

業債というふうに説明いたしました。正しくは、西8条2道路改良舗装事業債でございます。御訂正をお願いいたします。

もう一点ですが、同じ内容でございます。

7ページの上から3行目、西8条2道路改良舗装事業費と言うところで、南8条2道路改良舗装事業費というふうに説明をいたしました。正しくは、西8条2道路改良舗装事業でございますので、御訂正をお願いします。

もう一点でございます。

15ページになります。

議案第6号、平成28年度富良野市公共下水道事業特別会計予算でございます。

使用料及び手数料の中で、前年度対比0.3%増となっておりますが、前年度対比0.3%減というふうに説明いたしました。正しくは前年度対比0.3%増ということでございますので、御訂正をお願い申し上げたいと思います。

以上でございます。

議長（北猛俊君） 次に、平成28年度富良野市一般会計予算の細部について説明を求めます。

なお、特別会計及び企業会計予算の細部については省略いたします。

総務部長若杉勝博君。

総務部長（若杉勝博君） -登壇-

平成28年度富良野市一般会計予算の細部について御説明を申し上げます。

一般会計予算及び予算説明書の御用意をお願いいたします。

1ページをお開きいただきたいと存じます。

第1条は、歳入歳出予算の総額を126億2,600万円に定めようとするもので、前年度当初予算対比で5.7%、6億8,100万円の増でございます。

第1表歳入歳出予算の款項の区分及びその金額につきましては、歳入が2ページから5ページ、歳出が6ページから8ページにそれぞれ記載のとおりでございます。

1ページの第2条は、継続費1件で、経費の総額年割額を定めるもので、第2表継続費に記載のとおりでございます。

第3条は、債務負担行為3件で、債務負担の行為を行うことができる事項、期間及び限度額につきましては、10ページ、11ページの第3表債務負担行為に記載のとおりでございます。

第4条は、地方債27件、限度額は合計7億2,940万円でございます。

地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法につきましては、10ページから13ページに第4表地方債として記載のとおりでございます。

第5条は、一時借入金で、借入れの最高額を25億円と定めようとするもので、前年度と同額でございます。

次に、14ページをお開きいただきたいと存じます。

歳入歳出予算事項別明細書の総括、歳入につきましては、各款ごとの前年度予算との比較を、14ページ、15ページに記載のとおりでございます。

歳出につきましては、各款ごとの前年度予算との比較及び財源内訳を、16ページ、17ページに記載のとおりでございます。

次に、18ページの1款市税から65ページ22款市債までは、歳入の事項別明細でございます。

細部につきましては、予算の概要で説明申し上げたとおりでございますので、省略をさせていただき、歳出につきまして、各款項目のうち目で、前年度と比較いたしまして1,000万円を超える増減があった項目を中心に、その主な事業について御説明を申し上げます。

66ページ、67ページをお開き願います。

1款1項1目議会費は、前年度対比1,222万1,000円減の1億4,108万9,000円を計上しております。減額の主なものは、100番、議員報酬等の議員共済会負担金でございます。

次に、68ページから73ページでございます。

2款総務費1項総務管理費1目一般管理費は、前年度対比1,079万9,000円減の10億2,564万円の計上ですが、減額の主な要因は、162番、地籍調査事業費の地籍調査業務委託料の減によるものです。

次に、74ページ、75ページでございます。

2目広聴広報費は、前年度対比1,174万5,000円減の2,399万1,000円の計上ですが、この減額は、組織機構の変更に伴う予算の組みかえで、連合会長、町内区会長への行政事務連絡経費、地域会館維持管理費、地域づくり推進経費等を18目市民協働費として予算計上したことによるものでございます。

次に、94ページ、95ページでございます。

18目市民協働費は、新たに起こした目で、さきに説明申し上げた連合会、町内区会、地域会館、地域づくり推進に係る経費及び国際交流に係る経費2,283万4,000円を計上しております。

次に、96ページから103ページ上段でございます。

19目文化振興費、20目体育振興費も新たに起こした目で、教育委員会で所管しておりました文化、スポーツに係る事務事業を市長部局で行うこととしたことに伴う予算の組みかえで、19目文化振興費として1億772万8,000円、20目体育振興費として9,258万9,000円を計上しております。

次に、106ページから109ページでございます。

4項選挙費では、2目参議院議員選挙費として1,424万5,000円を計上してございます。

次に、108ページ下段から111ページ上段でございます。

5項統計調査費1目諸統計調査費は、前年度対比1,287

万9,000円減の312万4,000円の計上で、減額は国勢調査の終了によるものでございます。

なお、2款総務費における主な新規事業としましては、市制施行50周年記念事業費292万4,000円、末広コミュニティセンター屋根外壁塗装工事費380万円、文化会館エレベーター設置工事費2,484万円、演劇工場舞台照明設備改修工事費1,189万1,000円、山部文化協会創立70周年記念事業補助金50万円、市制施行50周年記念プロ野球イースタンリーグ公式戦開催事業補助金300万円、富良野陸上競技場改修工事費504万円などを計上してございます。

次に、110ページ下段から113ページでございます。

3款民生費1項社会福祉費1目社会福祉総務費は、前年度対比1,094万7,000円増の3億897万8,000円の計上で、増額の主なものは、190番、国民健康保険特別会計繰出金の増額でございます。

次に、112ページ下段から117ページでございます。

2目老人福祉費は、前年度対比2,273万8,000円増の9億7,671万円の計上で、増額の主なものは、350番、老人施設入所委託措置費、440番、介護保険特別会計繰出金及び460番、デイサービスセンターやまべ運営管理事業費の増によるものでございます。

次に、118ページ下段から123ページ上段でございます。

5目老人ホーム費は、前年度対比2,312万円増の7,099万4,000円の計上で、増額は、100番、養護老人ホーム寿光園運営管理事業費の増、6目福祉センター費は、前年度対比1,043万9,000円増の2,923万5,000円の計上で、増額は、135番、ふれあいセンター改修事業費の増によるものでございます。

次に、122ページから127ページ上段でございます。

7目障害者自立支援費は、前年度対比2,112万9,000円増の7億6,865万5,000円の計上で、増額の主なものは、130番、自立支援給付事業費の増によるもの、8目臨時福祉給付金等給付費は、前年度対比8,008万2,000円増の1億2,507万1,000円の計上で、増額の主なものは、120番、年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費によるものでございます。

次に、130ページ中段から135ページ上段でございます。

2項児童福祉費、3目児童福祉施設費は、前年度対比1,036万2,000円増の1億1,071万9,000円の計上で、増額の主なものは、145番、障害児通所給付事業費の増によるものでございます。

次に、134ページ中段から137ページ上段でございます。

4目保育所費は、前年度対比4,558万3,000円減の8,360万9,000円の計上で、減額の要因は、100番、認可保育所運営費の減と前年度の認可保育所再編事業終了によるものでございます。

なお、3款民生費における新規事業としましては、介護保険制度の改正により介護保険特別会計より移行した

高齢者配食サービス事業費410万2,000円及び高齢者介護用品助成事業費976万5,000円、デイサービスセンターやまべの特殊浴場購入費617万2,000円、養護老人ホーム寿光園のナースコール設備更新工事費1,500万円、第3子以降多子世帯出産祝金給付事業費400万円、おむつ券交付事業費618万5,000円、おむつ用ごみ袋給付事業費18万8,000円、子育て支援環境整備補助金60万円などを計上してございます。

次に、138ページ下段から143ページ上段でございます。

4款衛生費1項保健衛生費1目保健衛生総務費は、前年度対比2,869万4,000円減の7,139万円の計上で、減額の要因は、前年度の地域センター病院医療機器整備事業補助金の終了によるものでございます。

次に、142ページ下段から147ページ上段でございます。

3目母子衛生費は、前年度対比1,620万8,000円増の7,769万7,000円の計上で、増額の主な要因は、100番、乳幼児医療給付事業費の対象拡大による増額と、130番、乳幼児家庭全戸訪問事業費、140番、特定不妊治療助成事業費を新たに計上したことによるもの、5目環境衛生費は、前年度対比1,489万6,000円減の1,470万4,000円の計上で、減額は前年度の墓地造成事業の終了によるものでございます。

なお、4款衛生費における新規事業としましては、特定不妊治療助成事業費180万円を計上してございます。

次に、160ページ中段から167ページ上段でございます。

6款農林業費1項農業費3目農業振興費は、前年度対比5億7,481万5,000円増の9億9,242万8,000円の計上で、増額の主な要因は、220番、防衛施設周辺農業用施設設置事業費6億4,837万4,000円及び460番、青年就農支援事業費の増額によるもの、4目畜産業費は、前年度対比1,081万4,000円減の2,482万6,000円の計上で、減額は、305番、草地畜産基盤整備事業費の減によるもの、7目農業施設管理費は、前年度対比1,986万6,000円増の4,675万1,000円の計上で、増額の主なものは、115番、自然休養村管理センター改修事業費、130番、農村環境改善センター運営管理費及び131番、農村環境改善センター改修事業費でございます。

次に、168ページ下段から171ページでございます。

7款商工費1項商工費1目商工業振興費は、前年度対比1,813万4,000円増の7,282万4,000円の計上で、増額の主な要因は、新たに、115番、メイドインフラノ推進事業費を計上したこと、205番、中小企業振興事業費について、前年度においては、国の地域住民生活等緊急支援に係る補正に伴い、平成26年度3月補正で前倒し計上していたことによる増でございます。

次に、172ページから175ページ中段でございます。

3目観光費は、前年度対比2,148万2,000円増の5,039万1,000円の計上で、増額の主な要因は、前年度において

は、国の地域住民生活等緊急支援に係る補正に伴い、平成26年度3月補正予算として前倒し計上した通年・滞在型観光推進事業補助金などの整理を行い、新たに、106番、北の峰観光振興事業費、107番、山部観光振興事業費、108番、東山観光振興事業費、121番、観光インフォメーションセンター運営管理費、123番、ふらの版DMO推進事業費、196番、スノーファンタジー推進協議会補助金、209番、観光地サイン整備事業費等を計上したことによるものでございます。

次に、184ページから187ページ中段でございます。

8款土木費2項道路橋梁費4目道路新設改良費は、前年度対比8,010万8,000円増の2億9,286万5,000円の計上で、増額の主なものは、115番、東6条道路改良舗装事業費、312番、西8条2道路改良舗装事業費、317番、東2条1道路改良舗装事業費の増によるもの、5目橋梁維持費は、前年度対比1,100万円増の6,020万円の計上で、増額は、140番、市道橋長寿命化事業費の増によるもの、6目橋梁新設改良費は、前年度対比6,604万5,000円増の1億6,929万2,000円の計上で、160番、扇山橋架換事業費、170番、南1号8線橋架換事業費の増によるものでございます。

次に、190ページから191ページ上段でございます。

4項都市計画費4目公園費は、前年度対比1,733万9,000円増の8,092万1,000円の計上で、増額の主なものは、171番、公園施設長寿命化事業費によるものでございます。

次に、190ページ下段から195ページ上段でございます。

5項住宅費1目住宅管理費は、前年度対比1,083万6,000円減の4,245万2,000円の計上で、減額の主なものは、100番、公営住宅管理費、130番、公営住宅長寿命化事業費の減によるもの、2目建築指導費は、前年度対比1,633万6,000円増の1,806万1,000円の計上で、増額の主なものは、116番、住宅リフォーム事業の制度拡充に伴う増及び150番、空き家対策事業費の新たな計上によるもの、3目住宅建設費は、対前年度比1億7,270万7,000円減の2,254万5,000円の計上で、100番、公営住宅建設事業費が大幅な減となっておりますが、これは国の補正予算により、平成27年度補正予算に公営住宅建設事業費2億8,565万9,000円を前倒し計上していることによるものでございます。

次に、200ページ下段から203ページでございます。

9款教育費1項教育総務費7目学校保健費は、新たな目として2,770万2,000円を計上しておりますが、前年度、保健体育費、学校保健費で組んでいた予算を移行したものでございます。

なお、9款教育費における新規事業としましては、学校教育コミュニケーション教育推進事業費132万円、鳥沼小学校屋内運動加場屋根外壁塗装事業費1,240万円、第3子以降多子世帯就学助成事業費150万円、西中学校グラウン

ド防球ネット設置工事費400万円、図書館授乳室整備事業費177万7,000円を計上しております。

次に、224ページから227ページ下段でございます。

10款公債費1項公債費1目元金は、前年度対比2,939万4,000円増の9億7,623万6,000円、2目利子は、前年度対比3,260万6,000円減の1億2,720万4,000円を計上、11款給与費は、前年度対比6,800万円減の20億6,400万8,000円を計上してございます。

なお、230ページから235ページには給与費明細書、236ページ、237ページには継続費に関する調書、238ページから243ページには債務負担行為に関する調書、244ページ、245ページには地方債現在高の見込みに関する調書をそれぞれ掲載しております。

以上、平成28年度一般会計予算について御説明を申し上げましたが、よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

散 会 宣 告

議長（北猛俊君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

明2日の議事日程は、お手元に御配付のとおりであります。

本日は、これをもって散会いたします。

午後0時08分 散会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 28 年 3 月 1 日

議 長 北 猛 俊

署名議員 岡 本 俊

署名議員 関 野 常 勝